※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　学書表現科

教科	学書表現	科目	(学)創造表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「書Ⅲ」（光村図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまで学んだことをもとに自ら題材を考えて、様々な形式の作品に取り組みましょう。
・学校行事である文化祭やアートスタジアムを見据え、他者、また他教科と合同で作品制作を行います。
・大作を仕上げるにあたり、紙継ぎ、また表具の勉強も行います。

2　学習の到達目標

・知識及び技能：
様々な形式の紙や異なる大きさの筆を用いて、多彩な用筆・運筆の仕方を学び、表現する技能を身に付ける。
・思考力、判断力、表現力等：
題材に沿って自らの意図をもとに作品の構成を工夫し、鑑賞者の受け取り方を考えて表現する。
・学びに向かう力、人間性等：
主体的に創作に取り組むことで感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉の意味や内容と線質や構成の関係性で鑑賞者への伝わり方を理解している。 ・言葉の意味や内容に沿った線質や構成で表現するための技術を身に付けている。	・制作者の思いと鑑賞者の視点両方を考えながら、線質や構成を工夫して表現している。 ・文字の大小の変化や墨の潤滑、または彫り方などの創作の基礎を効果的に表現しようと工夫している。	・合同制作を行うことで、他者からの意見を素直に受け止め、様々な視点から作品を見て、制作にあたろうとしている。 ・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字仮名交じりの書	・様々な線を引く ・一つの文章で、複数の構成を考え、作品を制作する。 ・自分で文章を考える。または、著作権切れの文章を用いて、作品を制作する。	a：言葉の意味や内容と線質や構成の関係性で鑑賞者への伝わり方を理解している。 b：制作者の思いと鑑賞者の視点両方を考えながら、線質や構成を工夫して表現している。 c：書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
	文化祭書道パフォーマンスに向けて	・音楽コース生が選んだ曲をもとに文章、言葉を考える。 ・構成を考える。 ・書く言葉を分担し、役割を決める。	a：言葉の意味や内容と線質や構成の関係性で鑑賞者への伝わり方を理解している。 b：制作者の思いと鑑賞者の視点両方を考えながら、線質や構成を工夫して表現している。 c：合同制作を行うことで、他者からの意見を素直に受け止め、様々な視点から作品を見て、制作にあたろうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
2		・練習及び本番の紙継ぎを行う。 ・個人で自分の役割の言葉を練習する。 ・全紙サイズで合同の練習を行う。 ・合同で書いた作品を見ながら、書風や文字のサイズを決める。 ・本番と同じサイズの紙に練習する。 ・本番後、学校行事アートスタジアムに展示できるよう準備を行う。	a：言葉の意味や内容に沿った線質や構成で表現するための技術を身に付けている。 b：制作者の思いと鑑賞者の視点両方を考えながら、線質や構成を工夫して表現している。 c：合同制作を行うことで、他者からの意見を素直に受け止め、様々な視点から作品を見て、制作にあたろうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字（創作）	・十四字程度の漢詩を選択し、書体を決める。 ・集字を行う。 ・文字の大小や墨の潤滑を考えて草稿をつくる。 ・半紙に文字を練習する。 ・考えた構成で半切に書く。	a：言葉の意味や内容と線質や構成の関係性で鑑賞者への伝わり方を理解している。 b：文字の大小の変化や墨の潤滑などの創作の基礎を効果的に表現しようと工夫している。 c：書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート
3	篆刻	・字数制限は設けず、自分で言葉を選ぶ。 ・セラミックボードに筆で書いたものを写す。 ・彫刻刀で彫る。 ・顔彩等を用いて色付けを行う。	a：言葉の意味や内容に沿った線質や構成で表現するための技術を身に付けている。 b：文字の大小の変化や彫り方の創作の基礎を効果的に表現しようと工夫している。 c：書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	学習活動の様子 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度